



# 週間情報



No.0509

発行日 令和5年3月7日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 緊急消防援助隊岡山県大隊合同訓練を実施

#### 岡山県消防長会

岡山県消防長会では、令和5年2月14日（火）、岡山市消防教育訓練センターにおいて、緊急消防援助隊岡山県大隊合同訓練を実施しました。

この訓練は、岡山県下14消防本部の連携強化、活動能力の向上及び情報共有体制の確立を図ることを目的として実施したものです。

当日は、後方支援本部運用、部隊参集、部隊運用、後方支援活動の一連の流れを確認し、後方支援活動の重要性を共通認識するための座学教養を事前に行ったことで、効果的な宿営地の設営や給食訓練を行うことができました。

今後も、各消防本部との合同訓練を継続して実施し、オール岡山で災害に備えてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ パワーハラスメントに関する講演会を実施

熊本県消防長会

熊本県消防長会では、令和5年2月20日（月）、「消防職員のパワハラ対策」の講演会を実施しました。

この講演会は、総務研修として実施したもので、熊本県下12消防本部から120人が参加し、一般社団法人日本防災教育訓練センターの代表理事サニーカミヤ氏を講師にお招きし、ご講義いただいたものです。

当日は、事例を交えた具体的な対策などを学ぶことができ、改めてハラスメントの撲滅に真摯に取り組むきっかけとなりました。

今後も、パワーハラスメント防止へ向けて県内消防本部が一体となって取り組んでまいります。



【講演会の様子】

## ◆ 令和4年度全道消防救助事例研究会を開催

全国消防長会北海道支部

全国消防長会北海道支部では、令和5年2月21日（火）、札幌市内のロイトン札幌において、令和4年度全道消防救助事例研究会を開催しました。

この研究会は、全道における消防救助活動事例の研究及び発表を通じて、全道消防職員の意識の高揚と消防救助技術の向上を図ることを目的として開催したもので、警防業務に携わる職員を中心に、道内55消防本部360人の職員が出席しました。

当日は、総務省消防庁消防研究センターの新井場公德氏を講師にお招きし、「大規模自然災害時の消防防災活動について」と題してご講義いただいたほか、道内の消防本部から6件の事例発表と、1件の情報提供があり、大変有意義な研究会となりました。

今後も、消防救助技術の充実や道内各消防本部の連携強化を図るため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【研究会の様子】

## 消防本部の動き

### 訓練

#### ◆ 令和4年度宜野湾市消防本部総合訓練を実施

##### 宜野湾市消防本部（沖縄）

宜野湾市消防本部では、令和5年2月15日（水）、沖縄コンベンションセンター劇場棟において、令和4年度宜野湾市消防本部総合訓練を実施しました。

この訓練は、沖縄コンベンションセンター自衛消防隊と消防職員・消防団員との連携を目的として実施したものです。

当日は、同自衛消防隊が119番通報、初期消火、避難誘導、救護活動を実施し、消防職員と消防団員は敷地内の池及び道路の消火栓から揚水後、連結送水管へ送水し消火活動を行いました。

また、防火管理者を消防指揮本部に招集して情報収集を行い、迅速な消火活動及び救護活動へ結びつけました。

今後も多くの利用者の安全・安心を守るため、訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】

#### ◆ 特殊災害対応訓練を実施

##### 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部（佐賀）

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部では、令和5年2月16日（木）、鳥栖貨物ターミナル駅構内において、佐賀県警察鳥栖警察署及び日本貨物鉄道株式会社九州支社と合同で特殊災害対応訓練を実施しました。

当日は、「テロリストが、構内に爆発物を設置し、化学薬品を散布したことにより、被害者が出ている」との想定で、警察によるテロリストの確保、爆発物の処理、消防による化学薬品の処理、要救助者の救出を実施しました。

今後も、災害対応力の強化を図ってまいります。



【訓練の様子】



## ◆ 合同CSR訓練（狭隘空間救助）を実施

幸田町消防本部（愛知）

幸田町消防本部では、令和5年2月17日（金）、愛知県警察機動隊及び岡崎警察署と合同CSR訓練（狭隘空間救助）を実施しました。

この訓練は、大規模地震の発生時において、ガレキ内に要救助者が取り残された状況を想定し、消防と警察が迅速に連携した救助活動を行うことを目的として実施したものです。

今後も、消防と、警察その他の関係機関との相互応援は必要不可欠であるため、定期的な合同訓練を継続し、顔の見える関係を構築して連携強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 模擬家屋燃焼実験訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和5年2月17日（金）、模擬家屋燃焼実験訓練を実施しました。

この訓練は、火災性状や火災の成長過程の確認、放水による火煙の反応を体験した上で放水要領の検証を行い、火災に対しての知識を深め、組織内で共有することを目的として実施したものです。

当日は、原寸大に近い2棟の模擬家屋を燃焼させて、火災発生からフラッシュオーバーが起こるまでの状況を確認し、レイン注水による消火効果の確認や噴霧放水による火煙のプッシングを実施しました。

後日、実験中に撮影した映像の検証を行い、隊員の教育に活用します。

今後も現状の活動に満足せず、迅速・的確な消火活動ができるよう、能力の強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 合同山岳救助訓練を実施

### 熊本市消防局（熊本）

熊本市消防局では、令和5年2月17日（金）、熊本市と宇土市にまたがる雁回山<sup>がんかいざん</sup>において、宇城広域連合消防本部と合同山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、登山客2名が滑落したが詳細な場所是不明という想定で、ドローンを活用した検索、タブレット端末を使用した位置情報の特定、連携した救助活動や指揮運用を実施したもので、これからの登山シーズン到来に備え、実践的で有意義なものとなりました。

今後も、継続的な合同訓練を行い、災害対応力のさらなる連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 3機関合同山岳救助訓練を実施

### 筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和5年2月20日（月）、21日（火）の2日間、管内の桜川市内の山間部において、石岡市消防本部及び茨城県防災航空隊と3機関合同山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、管轄区域の境界を越えた災害に関する相互応援協定に基づき毎年実施しているもので、3機関の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

本訓練を通して、各隊の技術の習得、士気の高揚、顔の見える関係をさらに深めることができました。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】



## ◆ 運転技能向上訓練を実施

### 佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和5年2月21日（火）、長野県農業大学校研修部小諸キャンパスの施設において、運転技能向上訓練を実施しました。

この訓練は、機関員養成教育中の職員を対象として、自動車安全運転センター安全運転中央研修所で「消防・救急緊急自動車運転技能者課程」を修了した職員が講師となり、正しい運転姿勢、緊急走行、トラブル対応について講義を行った後、トラクター練習場において、サイレン吹鳴時の聞こえ方の検証、方向変換、誘導要領を実施したものです。

当日は、さまざまな視点から緊急走行の危険要因を再認識することができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も継続して行い、安全な消防車両運行のため、技術向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 特殊災害訓練を実施

### 富士宮市消防本部（静岡）

富士宮市消防本部では、令和5年2月22日（水）、特殊災害訓練を実施しました。

この訓練は、工場内で何らかの液体が漏洩し、1人が倒れているとの想定で、通報内容から化学災害を考慮し、必要な資器材の選定、取り扱い方法の確認、要救助者の救出及び漏洩物の拡散防止などを実施したものです。

今後も訓練を継続し、人材育成及び災害対応力の強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 指揮能力向上研修を実施

#### 松浦市消防本部（長崎）

松浦市消防本部では、令和5年2月13日（月）、14日（火）の2日間、指揮能力向上研修を実施しました。

この研修は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師にお招きし、消防指揮システムについてご講義・ご指導いただいたものです。

研修では、火災防ぎょタイムライン資料を用いた火災入電から始まる消防活動の図上訓練を行い、指揮隊の活動内容、各分隊の活動の明確化を図るとともに、情報伝達方法の重要性を再認識しました。

このカリキュラムは、短時間でも実施でき、各種災害にも応用が可能であるため、今後も継続実施し、指揮能力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

### ◆ 総括予防技術資格者による予防研修を実施

#### 枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、令和5年2月14日（火）、15日（水）、16日（木）の3日間、総括予防技術資格者による予防研修を実施しました。

当消防本部は、予防技術検定資格者にワッペンを貸与する制度を設けており、最上位の予防技術資格者として、総括予防技術資格者（MANAGER）を位置付けています。

この研修は、「予防業務のきほん」というテーマで、交替制職員を中心に約100人が受講し、予防の基礎知識、心構えについて講義を行ったものです。

今後も定期的に研修を実施し、予防全体のレベルアップにつなげてまいります。



【研修の様子】



【総括予防技術資格者（MANAGER）  
のワッペン】



## ◆ 職員の健康管理講演会を開催

### 西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和5年2月20日（月）、21日（火）の2日間、職員の健康管理講演会を開催しました。

この講演会は、メンタル心理ヘルスカウンセラーの資格を持つ職員が「消防職員のうつ病」についての基本的な事項と、今年度要綱を策定した長期休職後の復職支援の取り扱いについて講義するとともに、女性職員が「生理痛はどのような痛みですか？」をテーマに、女性職員の生理に関する現状と課題について講義したものです。

どちらの内容も多く職員に関心の高い事項であり、研修を通して職員が互いに理解を深め、働きやすい職場環境につながっていくことを期待しています。



【講演会の様子】

## ◆ 消防職員のメンタルヘルス対策研修を実施

### 志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和5年2月22日（水）、24日（金）の2日間、全職員を対象とした消防職員のメンタルヘルス対策研修を実施しました。

この研修は、当消防本部の衛生管理面を担当する産業医を講師にお迎えし、組織の現状、課題をご講義いただきました。

2人1組で行う傾聴研修では、聞く側の姿勢が与えるストレスの感じ方を実体験し、寄り添う姿勢が重要であることを確認することができました。また、「気付き」、「声を掛け」、「話を聞いて」、「繋ぐ」の4項目がメンタルヘルスの基本であり、積極的な声かけとコミュニケーションを取りやすい雰囲気作りを意識することが、メンタル不調の原因でもある「人間関係」の問題を解消し、笑顔あふれる職場につながることを学ぶことができました。



【研修の様子】



## その他

### ◆ 更新後の高規格救急車を無償譲渡

#### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和5年2月20日（月）、管内の二次救急医療病院の淡海医療センターに更新後の高規格救急車を無償譲渡しました。

これは、同病院が救急車の更新を検討していたことから、当消防局の更新後の高規格救急車を譲渡したもので、譲渡式では消防局長から病院長に目録を贈呈しました。

当消防局では、令和5年1月に1日の救急出動件数が過去最多を記録しており、増加する救急需要の抑制、救急医療体制のひっ迫緩和の一助になることを期待しています。

今後も管内の病院と連携を深め、地域社会全体で「救える命を救う」ためにさまざまな取り組みを進めてまいります。



【譲渡式の様子】



【譲渡式後の記念撮影】

### ◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

#### 館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和5年2月22日（水）、当組合管理者から救急活動協力者2名に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年12月9日（金）、市内飲食店において、心肺停止状態となった81歳男性に対して、的確な胸骨圧迫及びAEDを使用した除細動を実施し、救急隊到着時には心拍が再開し、救急隊に引き継いだものです。

この勇気ある救命活動によって尊い命が救われ、男性は後遺症もなく社会復帰することができました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 予防技術資格者証の交付式を実施

### 習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和5年2月24日（金）、予防技術資格者に認定される職員5人に対し予防技術資格者証の交付式を実施しました。

これは、これまで交付している予防技術資格者認定証（書面）のほかに、新たに予防技術資格者証として「防火査察」、「消防用設備等」、「危険物」の認定区分の保有数に応じて、ゴールド（3区分）、シルバー（1つ又は2つの区分）の樹脂製バッジを製作し交付したものです。

また、すでに予防技術資格者に認定されている職員30人に対しては後日交付します。これにより、35人の職員が予防技術資格者証を着用し業務に当たることになります。

交付式では、廣瀬消防長から「今後は更に実務経験を積み予防技術資格者として研鑽し、他の職員の規範となることを期待します。」との訓示がありました。

今後も、予防業務の専門化・高度化に対応するため、予防技術資格者の拡充に努めてまいります。



【交付式の様子】



【交付式後の記念撮影】

## ◆ 消防協力者に対して感謝状を贈呈

### 柳川市消防本部（福岡）

柳川市消防本部では、令和5年2月27日（月）、消防長から消防協力者に対し感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年12月17日（土）、水路において、近くにいた面識のない2名の中学生が、助けを求める高齢女性を発見し、協力して水面から地上に引き上げて救助したものです。

この2名の勇気ある行動により、尊い命が救われました。



【贈呈後の記念撮影】



◆ 住宅用火災警報器設置・維持管理PRソングを制作

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和5年2月14日（火）、住宅用火災警報器設置・維持管理PRソングを制作し、石巻広域消防公式YouTubeチャンネルで公開しました。

このPRソングは、一般住宅への住宅用火災警報器の設置が義務化されてから14年となり、本体交換等の維持管理を促進することを目的として制作したものです。

当消防本部予防課がPRソングの歌詞・楽曲と動画の制作に当たり、楽しみながら住警器の設置・維持管理の大切さを学べる内容に仕上がりました。



【動画サムネイル】



【動画配信元二次元コード】

◆ 救急車の緊急走行時において、市民に注意してほしいポイントを解説した動画を豊田市公式YouTubeチャンネルで公開

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和5年2月20日（月）、救急車の緊急走行時において、市民に注意してほしいポイントを解説した動画を豊田市公式YouTubeチャンネルで公開しました。

当消防本部は、豊田市つながる社会実証推進協議会の取り組みとして、トヨタ自動車株式会社と協力し、啓発動画の作成、振動制御技術やナビゲーションシステムの開発など、消防の現場活動に役立つ先進技術の活用モデルを構築に取り組んでいます。この動画は、その一環である救急搬送時における傷病者の負担軽減と安全で迅速な医療機関への搬送を目指す「Kin-Quプロジェクト」の第1弾として作成したものです。

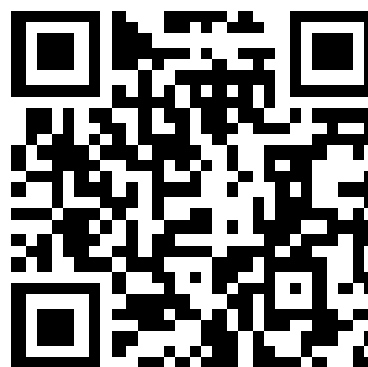
動画では、救急車のドライブレコーダー映像を用いて、救急隊員にとって助かる一般車の退避シーンや、市民の方が退避する際に注意してほしいポイントなどを解説しています。

今後も、より一層の安全で迅速な搬送に努めてまいります。

ぜひ、ご覧ください。<https://youtu.be/gkkaXNedWTE>



【啓発動画タイトル画面】



【動画配信元二次元コード】

**消防庁通知等**

◆ **首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路を消防活動のため使用する車両の取扱いについて**

(消防救第41号、令和5年2月27日)

消防庁救急企画室長から各都道府県消防防災主管部(局)長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、救急行政の推進について御尽力いただき御礼申し上げます。

救急出動先からの帰署時の高速自動車国道及び自動車専用道路(以下「高速道路」という。)通行料金の取扱いについては、消防庁と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社及び西日本高速道路会社の間で、「消防活動のため使用する車両の高速道路の利用に関する協定」を締結し、「料金を徴収しない車両を定める告示」(平成17年国土交通省告示第1065号)第3号に該当する消防活動のため使用する車両の高速道路の通行料金の取扱い等について定め、「消防活動のため使用する車両の高速道路通行料金の取扱いに係る協定等について」(令和3年1月15日付け消防救第8号)によって周知したところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20230227\\_kyuki\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20230227_kyuki_01.pdf))に掲載されています。

【問合せ先】消防庁救急企画室  
小味補佐、入江係長、大浦事務官  
電話：03-5253-7529  
E-mail : kyukyukikaku-

◆ **急速充電設備等に係る運用について(通知)**

(消防予第126号、令和5年2月28日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令(平成14年総務省令第24号。以下「対象火気省令」という。)に定める急速充電設備及び蓄電池設備については、消防法施行令(昭和36年政令第37号)及び対象火気省令を踏まえた各市町村等の火災予防条例により、その使用に際し火災の発生のおそれのある設備として一定の安全基準への適合が求められています。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230228\\_yobou\\_126.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230228_yobou_126.pdf))に掲載されています。

消防庁予防課予防係  
担 当：濱田、佐藤、田上  
T E L : 03-5253-7523  
Email : yobouka-y@ml.soumu.go.jp



◆ 外国船籍国際クルーズ船の運航再開に係る対応について（情報提供）

（事務連絡、令和5年3月1日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部長あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和5年3月以降、外国船籍国際クルーズ船（以下「クルーズ船」という。）の日本の国内港への寄港が予定されています。

これに伴い、厚生労働省より、各都道府県衛生主管部（局）等宛て「外国船籍国際クルーズ船の運航再開に係る自治体における対応について」（令和5年2月27日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部等事務連絡）【別添1】が発出されるとともに、各検疫所宛てには「外国籍クルーズ船への対応について」（令和5年1月27日付け医薬・生活衛生局検疫所業務課事務連絡）【別添1（別紙2）】が発出され、新型コロナウイルス感染症患者がクルーズ船内で発生した場合の対応など、クルーズ船の受け入れにあたっての各機関での対応等が示されました。

（別添1、別紙2省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/cbf7aa000a8d7acc4898bc75a4343f9a06fc1a53.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】

連絡先 消防庁救急企画室

担当 飯田専門官、岡澤補佐、石田係長、篠原事務官

TEL：03-5253-7529

E-mail：[kyukyuanzen@soumu.go.jp](mailto:kyukyuanzen@soumu.go.jp)

◆ 住宅用火災警報器に関する実態調査の結果について（情報提供）

（事務連絡、令和5年3月1日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、一般社団法人日本火災報知機工業会から別添のとおり報道発表した旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、本資料については一般社団法人日本火災報知器工業会のホームページ（<http://www.kaho.or.jp/pages/top/index.html>）でも公表されています。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む）に対し、この旨周知いただきますようお願いいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301_yobou_1.pdf)）に掲載されています。

消防庁予防課予防係

担当：佐藤、菅野

TEL：03-5253-7523

E-mail：[yobouka-y@ml.soumu.go.jp](mailto:yobouka-y@ml.soumu.go.jp)

◆ 「救助人材育成ガイドライン」及び「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」の策定並びに積極的な活用について（通知）

（消防参第62号、令和5年3月1日）

消防庁国民保護・防災部参事官から都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

（救助をとりまく状況・検討作業）

団塊の世代の大量退職から15年以上が経過し、経験豊かなベテラン職員の退職と職員の若返りが進み、救助技術と知識の継承が課題となっています。また、救助経験のベースとなる火災が減少する一方で、救助活動全体は依然として増加傾向にあり、救助の場面も多様化し、状況に応じた適切な救助手法の選択・判断が求められています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/3cd777229b8e819312bca7df456ec6d0187b6250.pdf>）

に掲載されています。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：田中補佐、宮嶋係長、岡田事務官、石丸事務官

電話：03-5253-7507（直通）

メール：[fdma.kyuujo@soumu.go.jp](mailto:fdma.kyuujo@soumu.go.jp)

◆ 石油コンビナート等特別防災区域の変更に係る防災体制について（通知）

（消防特第30号、令和5年3月1日）

消防庁特殊災害室長、経済産業省産業保安グループ高圧ガス保安室長から関係都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の一部を改正する政令（令和5年政令第43号）及び石油コンビナート等特別防災区域に係る区域の指定の一部を改正する件（令和5年総務省・経済産業省告示第1号）が本日公布され、令和5年3月2日に石油コンビナート等特別防災区域の変更が行われます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301\\_tokusail.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301_tokusail.pdf)）に掲載されています。

◆ 広域共同防災組織を設置することができる区域の変更に係る防災体制について（通知）

（消防特第31号、令和5年3月1日）

消防庁特殊災害室長から関係道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

石油コンビナート等特別防災区域を指定する政令の一部を改正する政令（令和5年政令第43号）が本日公布され、令和5年3月2日に広域共同防災組織を設置することができる区域の変更が行われます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301\\_tokusai2.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230301_tokusai2.pdf)）に掲載されています。



## 報道発表

### ◆ 令和4年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式の開催及び受賞団体の決定

(令和5年2月28日、消防庁)

令和4年度防災功労者消防庁長官表彰及び消防団等地域活動表彰の受賞団体を次のとおりとしましたので、お知らせします。

また、令和5年3月10日(金)に令和4年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/chibou\\_230228\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/chibou_230228_1.pdf))に掲載されています。

#### 【連絡先】

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室  
(村上消防団専門官、野崎事務官、宮崎事務官)  
TEL : 03-5253-7561 (直通)  
E-mail : [syobodan@ml.soumu.go.jp](mailto:syobodan@ml.soumu.go.jp)

### ◆ 令和4年度消防功労者消防庁長官表彰

(令和5年2月28日、消防庁)

消防記念日(3月7日)にちなみ、3月10日(金)に「令和4年度消防功労者消防庁長官表彰式」を開催します。本表彰式において表彰する受章者は次のとおりです。なお、詳細は別紙のとおりです。(別紙省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230228\\_soumu1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230228_soumu1.pdf))に掲載されています。

連絡先  
消防庁総務課  
泉水政策評価広報官・監物事務官  
Tel 03(5253)7521 内線 42173

### ◆ 令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)の贈呈団体の決定

(令和5年2月28日、消防庁)

令和4年度総務大臣感謝状(消防団関係)の贈呈団体を次のとおりとしましたので、お知らせします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/chibou\\_23022\\_2.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/chibou_23022_2.pdf))に掲載されています。

#### 【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室  
鈴木課長補佐、野崎事務官、菅原事務官  
TEL : 03-5253-7561 (直通)  
E-mail : [syobodan@ml.soumu.go.jp](mailto:syobodan@ml.soumu.go.jp)

## ◆ 令和5年春季全国火災予防運動の実施

(令和5年2月28日、消防庁)

令和5年3月1日(水)から3月7日(火)まで『令和5年春季全国火災予防運動』が全国各地で実施されます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230228\\_yobou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230228_yobou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 濱田・佐藤

TEL : 03-5253-7523

## ◆ 「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方に関する高度化検討会（救助人材育成）報告書」及び「救助人材育成ガイドライン」・「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」の公表

(令和5年3月1日、消防庁)

近年、救助活動のベースとなる火災件数が減少傾向にあるなかで、救助件数は増加傾向にあり、活動内容も多様化し、状況に応じた適切な救助手法の選択・判断がより一層求められる状況となっています。さらに、団塊の世代の大量退職から15年以上が経過し、経験豊かなベテラン職員の退職と職員の若返りが進むなかで、その後採用された職員が各消防本部の中心的な役割を担う立場となっています。

また、近年は、個々の消防本部の対応力を超える大規模な災害が頻発し、かつ激甚化しています。このような状況変化のなか、各消防本部においては、救助活動を担う人材の育成に関する、様々な課題やニーズが出てきています。

このような救助をとりまく状況変化・課題に対応するため、「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方に関する高度化検討会（救助人材育成）」を開催し、救助における中核人材の育成、効果的な教育訓練体制等について検討を行ってきました。

この度、報告書を取りまとめるとともに、「救助人材育成ガイドライン」（以下、「人材育成ガイド」という。）及び「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」（以下、「訓練指導マニュアル」という。）を策定しましたので公表します。

また、各消防本部には、人材育成ガイド、訓練指導マニュアルの積極的な活用、救助隊長の組織的な支援体制を整備・構築を依頼するとともに、各都道府県等消防学校においても、積極的な活用に努めるよう通知しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/f2855446e794712c3f4726e99e869f0057b9141d.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係

担当：田中参事官補佐、宮嶋救助係長、

岡田事務官、石丸事務官

TEL : 03-5253-7507(直通)

## 情報提供

### ◆ 指定店登録事業者からのお知らせ（令和5年2月分）

#### 一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者からのご案内をメールにて定期的に各消防本部へ配信しています。2月は以下の配信を実施いたしました。お見逃しの方にはご希望により同メールを再送いたしますので、問合せ先までメールにてご連絡ください。

- 1 2月1日（水）配信
  - (1) 【飲料・食料品】リポビタン・リビタシリーズの特別販売：大正製薬株式会社
  - (2) 【防災用品】一酸化炭素検知機能付火災警報器の特別販売：新コスモス電機株式会社
- 2 2月9日（木）配信
  - (1) 【家電・生活雑貨・日用品】自転車用ヘルメット、アルコール探知機等の特別販売：株式会社サクセス・ワールド：
  - (2) 【冠婚葬祭】葬儀支援サービス及びキャンペーン：株式会社全国儀式サービス
- 3 2月15日（水）配信
  - (1) 【家電・生活雑貨・日用品】ビレロイ&ボッホの食器の特別販売：株式会社エッセンコーポレーション
  - (2) 【飲料・食料品】コロッケ、さつま揚げ等の特別販売：株式会社東平商会
- 4 2月22日（水）配信
  - (1) 【住宅】賃貸住宅・不動産売買の仲介：大和エステート株式会社
  - (2) 【防災用品】住宅用火災警報器の特別販売：ホーチキ株式会社



なお、令和5年4月に指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」を開設し、各指定店からのご案内パンフレット等を掲載いたします。本サイトのURL等の詳細は、改めて各消防本部あてにご案内いたします。

#### 【問合せ先】

業務課

担当：石井健一、茂呂

メール：[zaimu-5@fcj.gr.jp](mailto:zaimu-5@fcj.gr.jp)



## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、[kikakoho@fcaj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。